

# 定期点検／お手入れ／保管

定期点検 ～ 下記に従い、3カ月ごとに実施してください ～

点検日付： 年 月 日 点検者名：

NSC パワーアッセンダー本体	チェック	判定
NSC パワーアッセンダー全体の傷や凹み状況		
本製品を振ったときの異音		
ベースプレートの状況(こすれ、削れ、ヒビ割れ等がないか確認してください)		
クイックドロースリングの切れ・ほつれ具合 (クイックドロースリングを取り外して点検を行ってください)		
ギャカバーとベースプレートの取り付け状況 (バックカバーのボルト 6 本を取り外して、ギャカバーをベースプレートに固定しているボルトにゆるみがないか確認してください)		
バックカバーの取り付け状況 (取り外したバックカバー固定用ボルトを締め、増し締めしてください)		
フロント及びバックホルンの取り付け状況 (バックホルン側からホルン取り付けボルトにゆるみがないか確認してください)		
フロント及びバックホルンの摩耗状況		
フロントカバーの開閉具合		
フロントカバーラッチの閉まり具合 (フロントカバー内側からラッチ固定ビスのゆるみがないか確認してください)		
フロントカバーヒンジの取り付け具合 (ベースプレート裏側から、フロントカバーヒンジの固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
フロントカバー自体の割れと内側のこすれ具合		
プーリーとベースプレートの取り付け状況 (プーリー正面から視認できる固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
プーリー内部の摩耗状況		
アッパーロープガイド及びプーリーロープガイドの取り付け状況 (アッパーロープガイドはベースプレートバック側から、プーリーロープガイドはベースプレートフロント側から固定ボルトのゆるみを確認してください)		
アッパーロープガイド及びプーリーロープガイドの摩耗状況		
アンチリバースカムベースのベースプレートへの取り付け状況 (ベースプレートフロント側から、アンチリバースカムベース固定ボルトのゆるみを確認してください)		
アンチリバースカムとアンチリバースカムベースの取り付け状況 (アンチリバースカムを指で動かして、スムーズに動くか確認してください)		
アンチリバースカムのロック機構の取り付け状況 (アンチリバースカムロック機構を指で動かしてスムーズに動作するか確認してください)		
アンチリバースカムの摩耗状況		

付属品	チェック	判定
ハンドルとシャフトの取り付け状況 (シャフトをロックしているボルトにゆるみがないか確認してください)		
セットカラーとシャフトの取り付け状況 (セットカラーをロックしている固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
シャフトとリングの取り付け状況		
リングとパワーロープの取り付け状況 (パワーロープに切れこすれがないか確認してください)		
充電ドライバー	チェック	判定
充電ドライバーの正転防止リングの取り付け状況		
充電ドライバーのバッテリーの状況		
充電ドライバーのキーレスチャックとシャフトの取り付け状況 (キーレスチャックの締め付け及びゆるみ具合を確認してください)		
充電ドライバー自体の落下防止処置の状況 (ストラップの切れこすれ、フックの固定ビスのゆるみ、スチール製オーバル型クイックリンクのゲートが確実に閉まっていることを確認してください)		

- ※異常が発見された場合、直ちに本製品の使用を中止してください。墜落する危険があります。
- ※ 十分な知識を持つ適任者が定期点検を行ってください。  
(定期点検の内容及び定期点検を行うために必要な資格は、国や地域における法規や使用状態により変わります。)
- ※ パーツ交換を除き、ケンテックシステムズテック施設外での本製品の改造および修理を禁じます。

## お手入れ

### 付着したゴミを取り除き、乾いた布で拭く

- 水洗いはしないでください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、パーツクリーナーなどを使用しないでください。
- 可動部に注油しないでください。
- 本製品及びギアを分解しないでください。  
(ギアはメンテナンスフリーです。)

## 保管

### 付属のアルミケースに収納する

- 水に濡れている場合は、完全に乾かしてから収納してください。
- 直射日光が当たる場所、車中、水や湿気の多い場所、ゴミやほごりの多い場所、子供の手の届く場所、ガソリンや軽油などの燃料のある場所、化学薬品のある場所は避けてください。